

【ビルマ国内】

- ・ ティンセイン大統領が、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏と親しい経済学者のウ・ミン氏を大統領顧問に任命したことがわかった。ウ・ミン氏によれば、大統領顧問は経済・政治・法の各分野につき3人ずつ、合計9人いるとのこと。氏は、新政府とスーチー氏との対話を促すのは任務ではないとした上で、「両者の相互理解・信用が深まるよう努める」と述べた(27日AP)。国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)に勤めていたウ・ミン氏は、数十年に渡る軍事政権の経済面での失策を痛烈に批判してきた。
- ・ ビルマと中国は、港湾開発が進むヤカイン(アラカン)州チャウピューと雲南省を結ぶ鉄道(全長約1,200キロ)を建設することで合意した。中国に石油と天然ガスを運ぶ2本のパイプライン(建設中)に並行する。(28日ロイター)

【国際関係】

- ・ ビルマ政府が2014年にASEAN議長国を務める意向を示していることについて、米 국무省のトナー副報道官代行は19日、人権状況などを理由に「ビルマがどんな指導的役割を担うことになっても懸念する」と述べた(会見記録)。ビルマは2006年に議長国になる予定だったが、欧米諸国などから辞退するよう圧力を受け、「国民和解プロセスを優先させる」という名目で就任を見送った経緯がある。
- ・ 東京で26日、東京商工会議所大メコン圏ビジネス研究会主催で「ミャンマー大使との懇談会」が開かれた。在日ビルマ民主化運動家約40人が会場前でビルマへの投資に反対するデモを行い、同研究会に要望書を手渡した。(26日ビルマ市民フォーラム)

【政府開発援助(ODA)】

- ・ 新たな発表はなし。

【注目アイテム】

- ・ 発売中の「Vogue Japan」6月号にアウンサンスーチー氏独占インタビュー記事。下記は取材時の様子など。
<http://blog.talk.vogue.co.jp/fashion/archives/3710951.html>
- ・ 国際難民支援会(Refugees International)がバングラデシュに暮らすロヒンギャ難民の苦境について報告書を発表(19日)。約20万人が法的地位を持たず、逮捕や暴行、劣悪な生活環境に直面している。
<http://www.refugeesinternational.org/policy/field-report/bangladesh-silent-crisis>
- ・ 米国際宗教自由委員会(USCIRF)が信教の自由に関する年次報告書を発表(28日)。ビルマを引き続き「特に懸念される国」とするよう米 국무省に勧告。
<http://www.uscirtf.gov/images/book%20with%20cover%20for%20web.pdf>

【イベント情報】([] 内は主催者。共催等は省略)

- ・ [ビルマ民主化同盟(LDB)] 「ビルマ水かけ祭 ダジャン」20店舗が出店予定、入場無料(日比谷公園小音楽堂、5月15日10時~17時)
- ・ [ビルマ民主化ネットワーク日本(NDB)] 「1990年国民民主連盟(NLD)総選挙勝利記念デモ~ビルマ新内閣発足に対する抗議行動」(外務省前、5月27日15時~16時)
- ・ [ビルマ民主化ネットワーク日本(NDB)] 「ディペイン虐殺事件から8年~全ての政治囚の釈放を求める抗議行動」(品川・在日ビルマ大使館前、5月30日15時~17時)

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>